

## 私は日記を書く

日記は記録書である。

私の日記は私の生活の歴史である。

日記を書く人種のひとりである私は、  
日記を書く他の人々と同じく、  
一日の行動を丹念に書き記す。

ある人はそれが不要だと言う。

しかし、私はそうは思わない。

絶対必要だ。

理由はある。

自分の日記は

自分だけが持つ

自分だけが価値のわかる

誰もまねできない宝である。

小さい時に書いた文を

大きくなった時に読むと

まことに楽しい。

そして、あの頃の姿が頭の中に

漠然と、懐かしく、

そして、生き生きと再現される。

